

三河・三重・静岡

●三河支社
岡崎市明大寺町
寺東5-3鈴熊ビル
電話0564(52)2260
FAX
0564(54)2336

●刈谷支局
刈谷市相生町
2-11
佐藤会計ビル
電話0566(21)6106

●三遠支局
豊橋市萱町21
佐藤ビル3階
電話0532(54)2668
FAX
0532(35)7100

●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル
3階
電話059(228)2545
FAX
059(271)6311

●四日市支局

製品分析受託体制を強化

不純物質の解析など

三重県環境保全事業団

一般財団法人三重県環境保全事業団(津市河芸町上野3258、高沖芳寿理事長、電話059・245・7508)は、製品分析体制を強化している。2020年に新分析装置を導入し、製品中の不純物質や有効成分の解析など、より高精度で網羅的な分析の受託を開始した。化学材料、医薬品メーカーなどの製品開発、品質管理の支援を扱う。また、欧州で使用・販売が禁止され、近年注目を集めているPF6A(パーフルオロオクタン酸)はじめ、有機フッ素化合物(PFAS)の分析を強化している。(津・片桐芳樹)



三重県環境保全事業団での製品分析の様子

品質管理、製品開発支援へ

20年4月に「液体クロマトグラフ-四重極-飛行時間型質量分析装置」を導入し、同年11月より受託分析を開始した。同装置は、従来の四重極型質量分析計と比べ高分解性能を有しており、製品中の有効成分や不純物質の構造解析に有効な情報を網羅的に収集できる。古川浩司第一分析課長は「有害物質の有無や不純物質を確認し、食品分野では有効成分を調べることができ、分析サービスを提供することでお客さまの製品、国内外で規制されている品質管理や製品開発に貢献していきたい」と話す。

一方、PFASの分析については、水道水を中心に約10年前から取り組んできた実績を生かす。同化合物は、フッ素系のはつ水剤や防水剤、消火剤などで使われてきたが、分解されにくく人体への蓄積が指摘され、国内外で規制されている。同校で行われた贈呈式に

刈高にサッカーボール寄贈

中京銀 友楽不動産 私募債手数料で



目録を手渡す森下社長(右)と和田主将

同校の大野正樹教頭は「社会貢献できる良き先輩の姿は手本になる。将来の目標にしていきたい」と部員に呼び掛けた。また、和田健斗主将は「新型コロナウイルス禍で大変な状況だが、支えてくれる人たちの感謝を胸に、全国大会を目指したい」と決意を語った。

【碧南】トヨタ自動車ビークルレーボール部の川合俊一ゼネラルマネージャー(GM)らがこのほど、碧南市の碧南商工会議所を訪れ、鈴木並生会頭にオリジナル

三重の おもてなし経営

▲上▲ 福利厚生は98制度 従業員は健康重視

三重県の「三重のおもてなし経営企業選」に選定された四日市事務機センター(本社四日市市日永西2の18の7)は、事務機器の販売と保守・管理や社内インフラ構築、クラウドシステム導入支援を展開する。クラウドを活用した働き方改革を推進し、福利厚生は98制度を用意。事務機器修理では、素早い対応で信頼を獲得し、キャンソンなどメーカー主催コンテストで優秀な成績を多数収めている。佐野智成社長に取り組みを聞いた。

四日市事務機センター

佐野 智成社長

(さの・ともなり)



「コピー機の修理であれば、依頼から60分以内の解決を目標にしている」と話す佐野社長

「クラウド化に積極的だ。理し、充実させてきた」
「事務機器の保守・管理対応での評価が高い」
「お客さまの業務に支障が生じないよう、1分でも早い対応を目指している。コピー機の故障であれば60分以内の解決が目標。故障連絡が入ったら社内クラウド上でタイマーが動き、解決したら止まる仕組みを導入している。社内情報共有することで素早い対応を実現。サービスの技術

三重県は、社員、地域、顧客の3者に対し「おもてなし」を実践する企業を「三重のおもてなし経営企業選」として表彰している。20年度は、新たに3社を選定。各社トップに取り組みを聞いた。

スキル向上にも力を入れている」

「98の福利厚生制度を用意している」

「禁煙手当から始まり、時代に合わせ、他社の事例も参考にしながら増やしてきた。会社で家族と一緒にインフルエンザ予防接種を受けたり、子どもの塾費用の一部負担など、社員の健康と家族を大切にしている制度が多い。離婚後に中途入社した30代の社員で、福利厚生を通して家族の良さを改めて実感し復縁につながったケースもあった。県の『三重とこわか健康経営大賞』で20年度優秀賞も頂いた。福利厚生充実により、思いやりや助け合い、感謝の精神が育まれている」

「昨年、本社リニューアルを機に、体験型オフィスツアーを開始した」

◆ ◆ ◆